

一 兵法の拍子の事

物ごとにつき拍子ハ有ものなれども取わき兵法の拍子鍛練なくしてハ及がたき所也

世の中の拍子 顕て有事

乱舞の道 伶人管弦の拍子など 是皆よくあふ所のろくなる拍子也

武藝の道にわたつて 弓を射 鉄炮を放し 馬に乗事迄も 拍子調子ハ有

諸藝諸能に至ても 拍子を背事ハ有べからず 又空なる事におるても 拍子ハあり

武士の身の上にして 奉公に身をしあぐる拍子しさぐる拍子 はずの相拍子 はずのちがふ拍子 有

或ハ商の道 分限になる拍子 分限にても其絶拍子

道々につけて 拍子の相違有事也

物毎 さかゆる拍子 おとろふる拍子 能々分別すべし

兵法の拍子におるて さま々く有事也

先 あふ拍子をしつて ちがふ拍子をわきまへ

大小遅速の拍子のうちにも あたる拍子をしり
間の拍子をしり 背く拍子をしる事 兵法の専也
此背く拍子 わきまへ得ずしてハ 兵法たしかな
らざる事也

兵法の戦に 其敵々の拍子をしり 敵の思ひよら
ざる拍子を以て 空の拍子をしり 知恵の拍子よ
り発して勝所也

いづれの巻にも 拍子の事を専書記す也
其書付を吟味して 能々鍛錬有べきもの也